

## 第八回気象文化大賞 受賞者（国内・アジア・太平洋）

一般財団法人 WNI 気象文化創造センターでは、国内・アジア太平洋地域における気象の減災・自助・共助、経済的利用、環境問題などをテーマとした実用・実践的な研究活動について表彰・助成しております。

本大賞では選考委員会（東京大学中須賀真一氏を選考委員長とする）による厳正かつ公平な審査のもと、助成先を決定いたしました。本大賞の結果を次に示します。

受賞者	所属機関	テーマ
村上 祐資	個人	極地の暮らしから学び、被災家族と一緒に共有する SHIRASE5002 を拠点とした防災訓練キャンプ。
山崎 政彦	日本大学理工学部 航空宇宙工学科	地震先行現象研究のための超小型衛星のブレッドボード モデルの開発。
瀧本 家康	国立大学法人 宇都宮大学	百葉箱を利用した宇都宮市における気温分布の実態調査 ～ヒートアイランド現象に注目して～
服部 克巳	千葉大学大学院 理化学研究院	巨大地震のリアルタイム短期予測システム技術の開発： 地圏-大気圏-電離圏結合の解明。
成田 知巳	学校法人 湘南工科大学	ICT 技術を活用した高精度・低コスト型落雷位置標定シス テムによる気象災害防止に関する研究。
松田 益義	株式会社 MTS 雪氷研究所	パナマ運河の水文リアルタイムモニタリングシステムの 構築に向けたガトゥン湖流域における 3 次元雨量計とイ ンマルサット衛星通信を用いた雨量計測基盤技術の開発。

永沼 幹子	宮城県立 多賀城高等学校	地震、大雨等を起因とする土砂災害について ー実地調査などと高校生からの提言ー
大河内 博	学校法人 早稲田大学	大気汚染は豪雨生成を促進するのか？： 首都圏ゲリラ豪雨とカンボジア熱帯性豪雨の比較研究
松山 洋	公立大学法人 首都大学東京	土壌雨量指数を用いた土砂災害発生危険度の評価と、ロシアにおける融雪土砂災害および洪水予測への対応
反保 聡史	国立学校法人 北見工業大学	ジュエリーアイスの出現時期推定手法に関する研究。
増田 純夫	特定非営利活動法 人富士山測候所を 活用する会	富士山頂から地球環境問題の最先端を発信する。
Hitoshi Kamogawa	University Space Engineering Consortium (UNISEC)	Cube sat observing atmospheric and space electricity for the earthquake prediction.
Maribeth L.Marasigan	Weather Philippines Foundation Inc. (WPF)	Upgrades to weather sensory infrastructure.
Dr.Thu Han Tun	Myanmar Maritime University	Experimental study on ship motions in waves.

